

新しい風ニュース NO 207

やまがたの環境とくらしを考える会 (通巻244)
岐阜県山県市西深瀬208 Tel・FAX 0581-22-4989

なんでも相談 どの政党とも無関係の 寺町ともまさ 2009年6月20日

HP ⇒ <http://gifu.kemmin.net/teramachi/> メール ⇒ tera@ccy.ne.jp

毎日、千何百のアクセスがある私の日記(ブログ)は「てらまち」で検索するのが一番はやい

今は 6月議会中です

山県市議会の定例会は6月10日開会、11日が一般質問通告日、12・15・16日は各常任委員会ごとに市内の委員会関連事業の視察、19日は本会議で議案質疑、22・23・24日は各委員会での議案審議、25日(木)一般質問、29日に閉会という日程です。

この「新しい風ニュース」は、私から市民の皆さんへ「毎月1回」を基本にお届けしていましたが、こここのところ「間が空いて」いました。しばらくは、「月に2回」を目標にしますので、月曜日の朝刊(新聞休刊日に当たると火曜日?)をご覧ください。

16億円の 補正予算案が出されました

市の一般会計予算は約156億円、特別会計等予算は約75億円です。この予算規模の山県市が6月19日の議会本会議で、約16億円の補正予算を追加提案しました。

大部分が政府の決めた臨時経済対策関連の予算です。

緊急の予算の使い道は、主として来年度等に予定している事業の今年への前倒しが多い、つまりいずれ来年には実施する(予算を使う)事業の範囲のものが多い。

岐阜県の追加補正予算は約1000億円で、県の新たな持ち出しは22億円、と報道されています。山県市の場合、約3億円の市費の持ち出し(ただし、この額は、入札差金=入札で予定より安く落札されて残るお金のこと=で相当減るとの目論見)で、それ以外は国のお金。とはいえ、国の借金、結局は国民の借金が增大する政府の経済対策です。

これらは、22日からの各委員会で審議され、29日の閉会日に採決されます。

保育所などの外部委託・指定管理は問題あり

自治体の施設管理などを、外部に委託することがあります。数年前からは法律が変わって、さらに広く外部委託が認められるようになりました。これを「指定管理者制度」といいます。条例を整え、議会の議決を得て、特定の施設を特定の民間(会社、組織)に任せることが出来ます。施設管理だけでなく「運営まで」任せることが出来ます。このとき、入場料や使用料などの収入はその会社、組織の収入としてよいことになっています。 ↑

スリム、コンパクトな役所・自治体が望ましいとの考えの広がりなどから、積極的に採り入れられています。山口市でも、「各種体育施設」や大桑の「香り会館」、美山の「グリーンプラザみやま」などが指定管理として外部に委託されています。

全国をみると、体育館や運動施設などはもちろん、今では、図書館や保育園、学校の運営まで外部に委託するところもあります。

ところが、最近、指定管理の会社が突然、破産や破綻したり、あるいは、不正をして指定を取り消されたりなど、大きな問題になる例が全国で出ています。

岐阜周辺ではまだ例がないので、こちらでは知る人は少ない「問題」です。

こんな中、山口市は、以前から、「保育所」を民営化するか否かの検討をしています。

- ★ 市長の諮問に対して「審査会」は、昨年、委託に前向きな姿勢を答申しました。
- ★ 市は、今年度中に「市民の意見」などを聞いて最終の決定をしたい意向です。
- ★ 私は、保育所や図書館などは市が直営で責任をもって運営していくべきだと考えますので、議員としての私の今年の「大きな課題」と位置づけています。

ですから、市民の皆さんに市の現状をお伝えし、市民としての意見をもっていただきたい。そこでまず、昨年12月議会で一般質問し、今年3月もこの問題で一般質問しました。今日のニュースは、その12月議会の一部を裏面で報告し、3月議会の一般質問は次回に。

—— 報道から ——

● **突然閉鎖…戸惑う保護者・自治体** 読売新聞 2008年11月21日

・・首都圏を中心に29か所の保育園や学童保育所を運営していた「エムケイグループ」が、経営難を理由に突然11月から全園を閉鎖した問題で、関係者の間に困惑が広がっている。保育園の民営化が進む中、自治体による参入企業の財務状況の確認の難しさが浮き彫りになった形だ。エムケイグループに対しても、川崎市からは4園に対して約1億1200万円、さいたま市は2園に約844万円、東京都中野区は1園に約1560万円を支払っていた。

● **保育園閉鎖、不安と批判 前夜に突然電話 経営難** 朝日新聞 2008.11.14

・・高まる保育需要に応えようと、企業の参入が可能になって8年。税金も投入されており、行政の監督や財務審査が甘すぎると批判ある。業界大手の株式会社こどもの森の会長は「経営難で保育士の給料や労働条件が悪くなれば、保育の質にもかかわる。」と指摘する。

● **制度の抜本的な見直しを～指定取り消し結果** 地方自治問題研究機構 2007.08.10

・・総務省調査によると・・・指定取り消し状況を見ると、株式会社・有限会社の指定管理者の割合(参入率)は11%だが、指定取り消し割合は50%と極めて高く、その理由も詐欺行為の発覚、経営破綻・倒産(解散)、運営困難、儲からない、ビジネスチャンスにならなければ撤退又は辞退など、企業の社会的な責任が鋭く問われるもの。その結果、休館・業務休止に追い込まれた施設も出ている。また、取り消しが指定後1年以内の事例が多い。

若者世代対応、少子化対策の推進と

今後の施策について

【質問／寺町】 山県市行政改革大綱実施計画(平成17から21年度)では、保育園の民営化や調理業務の民間委託を検討し、児童館、子どもげんきはうす、放課後児童クラブ等の外部委託及び指定管理者制度の導入検討とある。検討状況を簡潔にまとめられたい。

単なる施設管理・運営の委託や指定管理における合理性はともかく、学校、保育、図書館など文化的、教育的な分野への民間委託や指定管理の導入には、市の主体性や将来の市民への責任の意味においても、強い懸念がある。市の考えはどうか。

【答弁／保健福祉部長】 保育園の民営化については、これまで児童福祉審議会で審議されてきた。このなかでは、利用者ニーズに迅速かつ的確にこたえていく必要性があり、民間の力により、よりきめ細やかな対応が可能となるが、行政の責務として、保育サービスの後退、質の低下しないよう推進していく必要があるなどの答申をいただいた。

現在、具体的にはなっていないが、市における定住化の促進や人口流出対策、地域の活性化のために方策として幅広い行政計画の一環として一体化した施策として考えていく。保育園の調理業務は、当然、質の低下とならないことを前提に、学校とも併せて具体的に検討したが、現時点においてはその効果は少なく、今後も継続して検討していく。

児童館・放課後児童クラブ等の民営化は、具体的な検討とはなっていない。

いずれにしても、議員ご指摘のとおり、この民営化等は、市としての責務、主体性を明確にすることは、当然、重要な責務と考えている。

【再質問／寺町】 児童福祉審議会への諮問と答申は、「民間委託する」という諮問に対して、「いくつかの注意点」を述べて「民間委託でよい」との答申だ。ところで、全国指定管理者の最近の問題、指定の取り消し事件、倒産事件を知っているか。

施設管理は代替可能だが、図書館や保育園などの民間委託、指定管理は慎重にすべきだ。

【答弁／保健福祉部長】 各地の倒産などの事例は聞いている。民営化などについて、今のところ具体的な考えには至っていない。

【再々質問／寺町】 指定管理の取り消し事件、倒産事件からは、指定管理者は当初ほど、安心できないという実態が明らかになっている。もう十分検討したから、保育園については、拙速な指定管理や民間委託は当面しないと、明言すべきではないか。

【答弁／副市長】 民営化をしたとしても、委託をした市の責任が大きいことに変わりない。他の市町では委託先が破たんをしたケースもあり、慎重に検討していく。

私の一般質問は 6月25日(木) の 午後 です

● 教育委員会の情報発信や説明責任、説明義務 (答弁者／教育長)

インターネットでの情報発信はいまや時代の主流。説明責任、説明義務もある。例えば、教育行政の根幹をなす「教育委員会」の会議は、だれでも傍聴することができるが、会議のお知らせも、会議の内容などの結果報告もない。昨年法改正があり、「教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、これを議会に提出、公表しなければならない」とされた。他市は行っているのに、山口市はまだ行っていない。

● 行政処分や公権力の行使に関する市及び市職員の認識 (答弁者／総務部長)

役所は住民に対して「処分その他公権力の行使に当たる行為」をする権限がある。その権限の行使は、個人の税金の額や水道・下水、その他の使用料、国保料などお金にかかわること、体育館や公民館などの使用許可・施設の利用にかかること、許認可などなど、いろんな場面がある。他市の例では、税金の金額の間違ひとか、不許可とか、「不利益を与える」処分や行為がされることもある。行政に納得できない感情をいただく市民がいる。

● 産業廃棄物の中間処理施設(大桑地区)の計画の現状 (答弁者／市民環境部長)

昨年から今年になったあたり、業者が中心施設の建物の外壁をなくすよう変更したいといっているという話があった。地元には「約束が違う、そんな姿勢では信頼できない」などの心配の声がある。そこで私は、県の関係文書などを情報公開で取得した。

なぜか、業者は、現地での工事を長らく中断したまま、しかも当初の知事の許可は生きているまま、今年5月には、今度は「新たな施設計画」として事前協議を開始した。

★ 昨年からの主な一般質問は、これから順次、報告していきます。

あなたも ブログ を しませんか

インターネットの「ブログ」が爆発的に広がっています。私は、「速報や写真、私の日記」はブログで、「詳しい情報やデータ」はHPで、「紙のニュース」は本紙のように、と使い分けています。3年半前の「新しい風ニュース175号(2005年12月27日)」では「私のブログの先週一週間の総閲覧数は『6,586』、アクセスIP数は『1,933』でした。」と書きました。今では、アクセスも増え、私のブログの先週一週間の総閲覧数は「30,479」 アクセスIP数は「10,150」 でした。ご覧になるには、インターネット検索で「てらまち」という言葉で検索するのが一番早いです。

なお、今年3月末にメール・アドレスを変更しました ⇒ tera@ccy.ne.jp